

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から 令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動

1) 資格認定講習

- ・開催回数 1回
- ・実施級 初級・中級・上級
- ・実施期間 2022年1月8日（土）～1月31日（月）
- ・受講者数 72名（内訳等以下）。
- ・多様な分野に資格取得者を輩出すべく改訂後の制度にて初実施し、非環境分野を含む約20分野の受講者が受講（内訳等以下）。
- ・多様な地域に資格取得者を輩出すべくオンラインにて実施し、24都道府県の受講者が受講（内訳等以下）。

令和3年度受講者数内訳

級	人数
初級	42名
中級	25名
上級	5名

環境再生医受講者推移（直近5年）

（単位：人）

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
初級	2	6	6	14	42
中級	21	17	24	23	25
上級	1	0	1	0	5
合計	24	23	31	37	72

令和3年度受講者分野内訳

約20分野

サービス業/非環境系、製造業/工業系、金融業、公務員、流通業、造園業、市民団体、環境分析、情報通信業、製造業/食品系、農業、サービス業/環境系、福祉団体、経営コンサルタント、建設コンサルタント、建設業、商社、学生（認定校）など

令和3年度受講者地域内訳

計24都道府県

北海道、青森県、岩手県、宮城県、茨城県、埼玉県、東京都、千葉県、山梨県、長野県、富山県、石川県、神奈川県、静岡県、岐阜県、三重県、京都府、和歌山県、大阪府、兵庫県、鳥取県、愛媛県、福岡県、鹿児島県、沖縄県

2) 認定校制度

- ・304名の環境再生医初級取得者を認定（内訳等以下）。
- ・申請減要因（covid-19による学生の経済的困窮、教員からの対面説明機会減など）の動きについては継続して情報収集中。
- ・認定校数は昨年度と同じ37校を維持（内訳等以下）。

認定校での認定者数推移（直近5年）

（単位：人）

	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
認定者数	212	257	282	148	304

令和3年度 認定校別環境再生医初級取得者数 (単位：人)

学校名	学部等	取得者数
岩手県立大学	総合政策学部	10
岩手大学	農学部	2
岩手大学	人文社会科学部	5
江戸川大学	社会学部	0
大阪産業大学	人間環境学部	10
金沢大学	人間社会学域	0
岐阜女子大学	家政学部	0
岐阜大学	応用生物科学部	2
九州産業大学	工学部	21
京都先端科学大学	バイオ環境学部	0
甲南大学	文学部	0
神戸女学院大学	人間科学部	10
神戸大学		5
実践女子大学	生活科学部	5
芝浦工業大学	システム理工学部	25
尚絅学院大学	総合人間科学部	5
信州大学	農学部	36
東京テクニカルカレッジ		8
第一工科大学	工学部	2
拓殖大学	政経学部	7
拓殖大学	国際学部	0
拓殖大学北海道短期大学	農学ビジネス学科	3
玉川大学	農学部	27
都留文科大学	文学部	4
東海工業専門学校金山校	昼間部	0
東海大学	海洋学部	16
東京農業大学	農学部	47
東京農工大学	農学部	6
常葉大学	社会環境学部	0
長崎大学	環境科学部	0
西日本短期大学	緑地環境学科	3
日本工科大学校	環境建設工学科	5
日本大学	生物資源科学部	18
日本大学	理工学部	12
北海道科学大学	工学部	0
宮崎大学	農学部	2
龍谷大学	(学部共通)	8
	合計	304

認定校数推移 (直近5年) (単位：校)

	平成29年 2017	平成30年 2018	令和元年 2019	令和2年 2020	令和3年 2021
①継続	34	34	34	35	37
②新規	0	0	1 (拓大国際)	2 (福島大・人間環境大)	0
③関係回復	0	1 (信州大)	1 (江戸大)	0	0
休眠	11	10	9	9	9
中止	0	1 (IWAD/ 科目廃止)	1 (宮崎大/ 科目廃止)	1 (宮城大/ 科目廃止)	0
稼働校計 (①+②+③)	34	35	36	37	37

3) 資格制度の質の向上

- ・認定校講義受託：1件（龍谷大学/環境再生医フィールド研修内特別講義）。
- ・環境再生医へ有償案件紹介：1件（東京テクニカルカレッジ/環境保全実習講師）。
- ・環境再生医より寄付支援：1件（損保ジャパン）。
- ・資格取得者への情報提供
 メーリングリスト約50件（継続学習情報、人材募集情報、環境再生医関連活動案内など）
- ・レンジャーズプロジェクトとの連携
 資格認定講習受講者募集、ボランティアリーダー募集、One Tree Planted案件運営など。
- ・ふるさと未来プロジェクトとの連動
 認定校への未来塾イベント参加者募集案内など。
- ・CSOラーニング企画（SOMPO環境財団）との連動
 認定校への企画説明、参加者募集案内など。

4) 資格取得者の管理（更新等）

- ・更新率対象者数45名のうち32名が更新を行った。
- ・更新率は71.1%。

更新率（直近5年） (単位：%)

	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年
更新率	60.7	69.3	58.9	62.3	71.1

②身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

1) レンジャーズプロジェクト

レンジャーズプロジェクトの「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン」を参加者や現地に呼びかけ、対策のうえ活動を行った。

	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
活動回数	49回	39回	37回	23回	40回
参加者数	340人	333人	394人	218人	331人
隊員登録数	2,813人	3,058人	3,481人	4,039人	4,381人

2) 大阪マラソン

- ・大阪マラソンの寄付先団体として、2020年に選定を受け、昨年度は感染症の影響で開催中止となり、2021年度に繰り越しとなった。大会は、2022年2月27日にエリートランナーのみ（一般ランナーの参加は見送り）で開催された。
- ・寄付金は、大阪府内の自然環境保全活動を促進するおおさかレンジャーズプロジェクトに活用。大阪府内3か所（大阪城公園・高槻市内の芥川・枚方市穂谷の里山）にて実施しており、2021年度は、8回実施をした。

3) 真如苑助成金

- ・本助成金事業は、2021年4月～2022年3月まで実施をした。助成金にて、「レンジャーズ活動の実施」の他、「広報強化」と「活動場所の増加」を行った。
- ・広報強化では、SNS(Instagram)のフォロワー増加に向けた取り組みやボランティア募集チラシのリニューアル、ホームページのHTTPS化によるセキュリティ強化・ホームページリニューアルに向けた内容の見直し等を行った。
- ・活動場所の増加では、新規に計5団体（東京2団体、埼玉2団体、神奈川1団体）追加した。

4) 企業連携・受託事業

- ・横浜市内でのレンジャーズの実施は、NPO法人よこはま里山研究所と協働で行った。また、NPO法人よこはま里山研究所が横浜市より受託した事業「森づくりボランティア体験会」の一部業務をレンジャーズプロジェクトが受託し、隊員を7回派遣した。
- ・キャタピラー財団95周年を記念したプログラムの一環で、米国One Tree Plantedとの協働で、横浜と神戸にて、植樹プログラムを行った。

5)その他

- ・2021年9月に、オンラインにて、レンジャーズプロジェクトとリーダー説明会を2部構成で開催した。
- ・2021年11月に、「身近な自然」のオンラインセミナーを開催した。
- ・2022年2月に、ふるさと未来創造プロジェクトと連携し、千葉県市原市にてレンジャーズ活動を実施した。
- ・2022年3月に、レンジャーズの参加者を学生のみ限定し、東京都杉並区にてレンジャーズ活動を実施した。

③農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

1)ふるさと未来創造事業

農林水産省「令和3年度農山漁村振興交付金」の採択があった地域協議会へ事業化・組織化等の伴走支援や助言等を行った。

団体名称／地域	内容
市原みつばち牧場農泊推進協議会／千葉県市原市	みつばち牧場の地域資源を活用した体験コンテンツ造成のためのマーケティングのノウハウの提供、組織体制づくりを行った。フィールドを活用し、レンジャーズプロジェクトの実施も行った。
松崎町害獣×外住協議会／静岡県松崎町	ジビエ、狩猟体験を活用した体験コンテンツ造成のためのマーケティングのノウハウの提供、組織体制づくりを行った。
たかす農泊実施協議会／岐阜県郡上市高鷲地区	インバウンドに向けた体験コンテンツの造成の支援を行った。近年のインバウンドの傾向について調査・情報共有を行った。
屋久島・平内農泊推進協議会／鹿児島県熊毛郡屋久島町平内地区	環境再生体験等を核としたコンテンツ造成、プロモーション媒体作成におけるノウハウの提供、組織体制づくりにおける情報提供を行った。
屋久島ブルーツーリズム推進協議会／鹿児島県熊毛郡屋久島町	漁業・水産加工業・遊漁船体験を中心とした食育プログラムの造成・プロモーション媒体作成におけるノウハウの提供、組織体制づくりにおける情報提供を行った。
木繋プロジェクト／鹿児島県熊毛郡屋久島町	林業・木工体験を中心とした木育プログラムの造成のためのマーケティングのノウハウの提供、組織体制づくりを行った。
Green School Yakushima／鹿児島県熊毛郡屋久島町	屋久島の里巡りを中心とした環境教育的体験コンテンツ造成のためのマーケティングのノウハウの提供、組織体制づくりを行った。

2) 環境系学生未来塾 in 泰阜村

NPO 法人 Hub&Labo Yakushima、NPO 法人グリーンウッド自然体験教育センターと協働で、2月17日～20日にオンラインにて実施した。

3) 湘南国際マラソン 20200

湘南国際マラソン 2020 の公式寄付先団体として選定を受けたが、新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度に引き続き開催中止となった。

④自然体験学習に係る活動

- ・2021年9月に、オンラインにて、レンジャーズプロジェクトとリーダー説明会を2部構成で開催した。
- ・2021年11月に、「身近な自然」のオンラインセミナーを開催した。
- ・ニュースレターで自然体験学習に関わる活動の参考になる図書の紹介を開始した
- ・環境系学生未来塾において、学生に対しての自然体験学習を行った。

⑤テキスト等の出版に係る活動

令和4年度のテキスト改訂に向けた準備を開始した。

⑥社会啓発や情報発信等に係る活動

1) ニュースレター

活動報告3回(全4頁)と年次報告1回(全8頁)を発行した。
 発送方法はPP封筒を利用した発送からエコメール便へと変更した。

月・No	内 容
7月 No.72	2020年度年次報告書、新理事あいさつ、理事退任のあいさつ 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト 活動レポート レンジャーズプロジェクト、ホームページリニューアル
10月 No.73	特集 2022年2月27日開催「第10回大阪マラソン・第77回びわ湖毎日マラソン統合大会」ランナー募集 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト 活動レポート レンジャーズプロジェクト&リーダー説明会 in オンライン2021
1月 No.74	会長あいさつ 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト 活動レポート オンラインイベント「都市の中の身近な自然」
3月 No.75	特集 2021年度 環境再生医「資格認定講習」開催報告 事業レポート ふるさと未来創造プロジェクト、レンジャーズプロジェクト 活動レポート 環境系学生未来塾活動報告 インターン活動報告

2) ホームページのリニューアル

セキュリティ強化とデータの更新のため、ホームページのリニューアルを行った。

⑦自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動

- ・自然環境の復元の学術的発展に資するため、会長を新たに選任した。
- ・自然環境の復元の学術的発展を推進するため、日本櫻学会が公益会員となり、事務局住所をnarecに置いた。

(2) その他の事業

なし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
①環境教育及び環境人材の育成に係る活動	1)資格認定講習 2)認定校制度 3)資格制度の質の向上 4)資格取得者の管理(更新等)	1)1/8～1/31 2)通年 3)通年 4)通年	1)全国、オンライン 2)全国 3)東京都、岐阜県、兵庫県 4)全国	1) 2人 2) 2人 3) 1人 4) 3人	1)受講者 72人 2)認定者 304人 3)50人 4)更新者 32人	3,625
身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動	1)レンジャーズプロジェクト 2)大阪マラソン 3)真如苑助成金 4)企業連携・受託事業	1)通年 2)通年 3)通年 4)通年	1)埼玉県、東京都、神奈川県 2)大阪 3)東京 4)東京、神奈川	1) 5人 2) 0人 3) 4人 4) 4人	1)登録者 4,381人 2)0人 3)新規団体 5団体 4)実施回数 9回	5,791
農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動	1)市原みつばち牧場農泊推進協議会 2)松崎町害獣×外住協議会 3)たかす農泊実施協議会 4)屋久島・平内農泊推進協議会 5)屋久島ブルーーツーリズム推進協議会 6)木繋プロジェクト 7)Green School Yakushima	1) 通年 2) 通年 3) 通年 4) 通年 5) 通年 6) 通年 7) 通年	1)千葉県市原市 2)静岡県松崎町 3)岐阜県郡上市 4)鹿児島県熊毛郡屋久島町 5)鹿児島県熊毛郡屋久島町 6)鹿児島県熊毛郡屋久島町 7)鹿児島県熊毛郡屋久島町	1) 3人 2) 3人 3) 3人 4)3人 5)3人 6)3人 7)5人	1)5人 2)4人 3)5人 4)5人 5)6人 6)8人 7)6人	8,180
自然体験学習に係る活動	特になし					0
テキスト等の出版に係る活動	特になし					0
社会啓発や情報発信等に係る活動	ニュースレター	年4回	東京	4人	発送数 1,215件	1,140
自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動	特になし					0

2) その他の事業
なし

数字から見る自然環境復元協会(2022年3月31日現在)

項目	2022年3月
運営会員数	79
協力会員数	147
交流会員数	13
公益会員数(団体)	3
賛助会員数(個人/団体)	1/9
特別会員数	0
Narec HP ユーザー数	11,315※
レンジャーズプロジェクト HP ユーザー数	16,364
Narec Facebook フォロワー	449
レンジャーズプロジェクト Facebook フォロワー	579
Narec Twitter フォロワー	318
レンジャーズ隊員 Twitter フォロワー	694
レンジャーズプロジェクト Instagram フォロワー	208

※(2021年4~7月の期間 旧ホームページのみ、2021年7月のリニューアル後の数値が統計対象に設定されていなかったため)